

知識と想いを充電



岩手県学童保育連絡協議会
〒020-0122
盛岡市みたけ3-38-20
岩手県青少年会館内
Tel・Fax 019-681-0651

愛知全国研 特集号

よりよい学びと交流を

第五一回全国学童保育研究会 in あいちは一〇月二九、三〇の両日、愛知県名古屋市中で行われ、全国の学童関係者ら約四千七〇〇人が参加しました。(岩手県からは四九人が参加) 全国研 in あいち実行委員長の柴田謙治氏(金城大学)は、全国研は保護者と指導員が共に学び、知識と想いを充電する場所。よりよい学びと交流の場を提供したいと参加者を歓迎しました。



全体会・歓迎行事

全国研 in あいちの幕開けは、愛知県内二八学童、五八〇人の児童による歓迎行事でした。歌と寸劇、鳴子を手にしての踊り、遊具のヤットコでステージ上を飛び回るパフォーマンスに、会場からは、「おーすーいー」と歓声と大きな拍手が起りました。

特別報告は、開催地と被災地から(愛知・熊本・岩手・福島) 報告が行われ、岩手からは陸前高田市の松ぼっくり学童の

(保護者) 小泉和代さんが「子どもの笑顔に救われた」今後も関心を持ち復興を見守ってください」と震災後、学童保育を立ち上げた経緯から現在までを報告しました。



特別報告をする小泉和代さん

子どもの心の声を聴く

分科会 学童保育と学校

元小学校教諭の講師が現役時代のエピソードも交え、子どものおかれている厳しい現状を知ることができた。子どもの心の声を聴く。イジメという行為は許されないが、被害者、加害者、共に子どもはサインを出している。そのサインに気付ける大人が必要。私は子ども達の声を聴けているか不安になった。学童は一番本当の姿

が出るので、指導員・親・学校等複数の大人の目で子どもの言動を



安心して心開ける関係を

分科会 子どもの気持ちに気づく

でいく。簡単な事ではないが出来る事から始めようと思う。「学ぶことで自分の中にやさしさを取り戻す」だそうです。

ました。田丸氏は放課後児童クラブ運営指針を策定した委員会のメンバーも務められました。子どもとの対話法(一対一でやりとりを楽しむ発達心理学の手法) 三〇年間続いている中で、子どもたちの言葉と理解、思考について語られました。

この分科会は希望者が多く急ぎよ増席し、二五〇人の受講者でした講師はこの三月まで小学校の養護教諭をされた方で、ご自身のお子さんが不登校だった時の働く母の苦悩などの体験談、保健室から見た子どもたちの言

葉や行動の裏にある思いや願いに気づけるために、子どもたちとの日々の関わりで、時々に出して行くサインを受け止める感性と安心して心を開いて貰える関係性を築くことが大切だと感じました。

【盛岡市指導員・白樫】